

コスタリカ

「アメリカの裏庭」、中米に位置し、人口380万人が暮らす。1949年、憲法により軍隊を廃止。国土の四分の一が国立公園・自然保護区に指定されており、エコ・ツーリズムのメッカとしても有名。教育を重視し、現在も国家予算の四分の一が教育費である。政治に対する国民の関心は高く、四年に一度の大統領選挙では子どもたちも模擬投票を行う。隣国ニカラガアからの移民はおよそ100万人にも達するといわれ、移民受け入れ大国である。2002年サッカーワールドカップ出場国でもあり、今、様々な面で急速に世界から注目を浴びている小国だ。

動植物の宝庫として知られる中米コスタリカ。もうひとつの知られざる事実に、今、世界が注目しはじめている。——軍隊を廃止し、半世紀以上がたつ、という事実。21世紀の現在、そこにはどんな社会があるのだろうか。人々はなにを考えて暮らしているのだろうか。抑制されたナレーションと音楽と踊りの導入により、コスタリカの「今」が淡々と描かれていく。人々の暮らしに根づく「民主主義」と、生き生きとした子どもたちの表情が、「軍隊のない世界」を浮かび上がらせていく。「軍隊をすてた国」を地球の裏側の物語として語るのではなく、スクリーンへと導く大役を果たしたのは、沖縄出身、仲村清子の踊り。大地に根をはるような安定した足取りと、蝶のような手の動き。平和を希求する原始の民のような生命力は、林光作曲の舞曲とともに国境を越えて、コスタリカの人たちと触れ合う。1999年冬、「沖縄発コスタリカ」という名で生まれた企画に、一般市民からの募金が寄せられた。

2年の時を経て完成。多彩な顔ぶれのアーティストと、若手中心の制作陣がこころみだ、新しいかたちの問題提起でもある。



企画製作・配給 あいファクトリー

出演 仲村 清子

挿入歌演奏 小室 等

音楽 レイ・ハフカミ

振付 伊藤 多恵

撮影 野和 田恵里花

企画 製作 早乙女 愛元

監督・構成 山本 洋子

早乙女 勝元 企画

軍隊をすてた国 País que dejó el ejército

ドキュメンタリー映画

「軍隊をすてた国」全編上映会～観て知ろう 平和をつくるって?～

4月19日(土) 18:30開場 18:45開演 ¥500-

下北沢らぶらす(北沢タウンホール11F) 下北沢駅南口 徒歩5分

お申込み:池原 ikeharmonia@gmail.com 080-2247-0824

主催:軍隊をすてた国を上映する会 協力:世田谷から未来をつくる会

風は地球の裏側から吹いてきた
音楽と踊りがコスタリカの現実と交錯する、
異色のドキュメンタリー

